

令和5年度
金沢大学ステークホルダー協議会
実施報告書（資料編）

令和5年11月
国立大学法人金沢大学



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

ステークホルダー協議会

令和5年9月22日

14:00 開会、全体会（35分）

（休憩 10分）

14:45 分科会（60分）

（休憩 15分）

16:00 各分科会の全体報告、挨拶（60分）

17:00 閉会



金沢大学ステークホルダー協議会

日頃から本学へ多大な支援・協力を頂いている方々が一堂に会し、
本学の近況をご理解いただく機会、ご意見・ご提案をいただく機会として
平成27年から開催しています。



自治体、地元企業の皆様、
高等学校の先生方、
地域の皆様、
経営協議会、金沢大学学友会、同窓会の皆様
学生、卒業生の皆様、ほか

ステークホルダーの皆様からのご意見やご提案を
大学運営に生かすための重要な場となっています。

未来知により社会に貢献する金沢大学を目指して



G7 富山・金沢教育大臣会合エクスカージョン (2023.5.15)

金沢大学長 和田 隆志

金沢大学憲章
基本理念

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」
の位置付けをもって改革に取り組む

学生、教職員の人数 (R5.5.1現在)

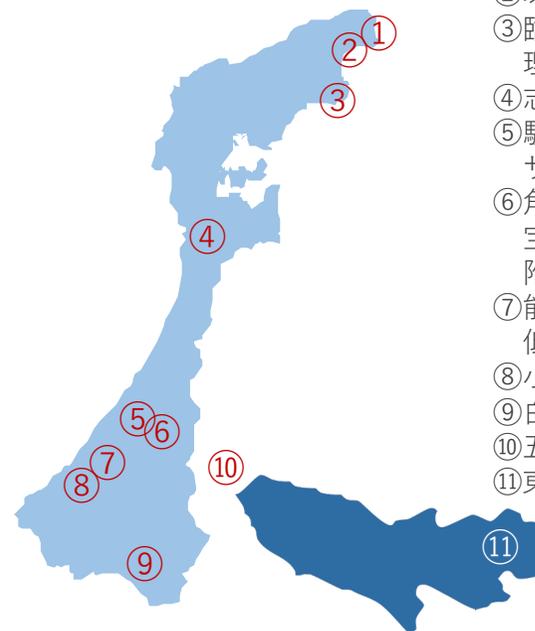
学生 (大学院生等を含む)	10,331名
附属学校園児童・生徒 (幼小中高特支)	1,641名
教員 (役員を含む)	1,333名
職員 (事務・技術職員、看護師等)	2,702名

計 16,007名



入学宣誓式

県内外の教育研究施設



- ①能登学舎
- ②珠洲サテライト
- ③臨海実験施設
理工学域能登海洋水産センター
- ④志賀学舎
- ⑤駅前サテライト
サテライト・プラザ
- ⑥角間キャンパス
宝町・鶴間キャンパス
附属学校園
- ⑦能美学舎
低レベル放射能実験施設
- ⑧小松サテライト
- ⑨白山白峰セミナーハウス
- ⑩五箇山セミナーハウス
- ⑪東京事務所

本学の規模と範囲を地域の皆様と活用し、社会貢献を推進します

地域に愛され、世界に輝く大学へ



金沢大学未来ビジョン

志

揮毫：和田隆志

基本理念 **地域と世界に開かれた教育重視の研究大学**

揺るぎない未来ビジョン **金沢大学の「志」**
オール金沢大学で「未来知」により社会に貢献する

3つのあるべき姿 **独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成**

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

大学院の飛躍的な機能強化

最重点ミッション **優位性・独自性のある研究分野の伸長 “世界的研究拠点の形成”**

全学を挙げての実証研究の展開

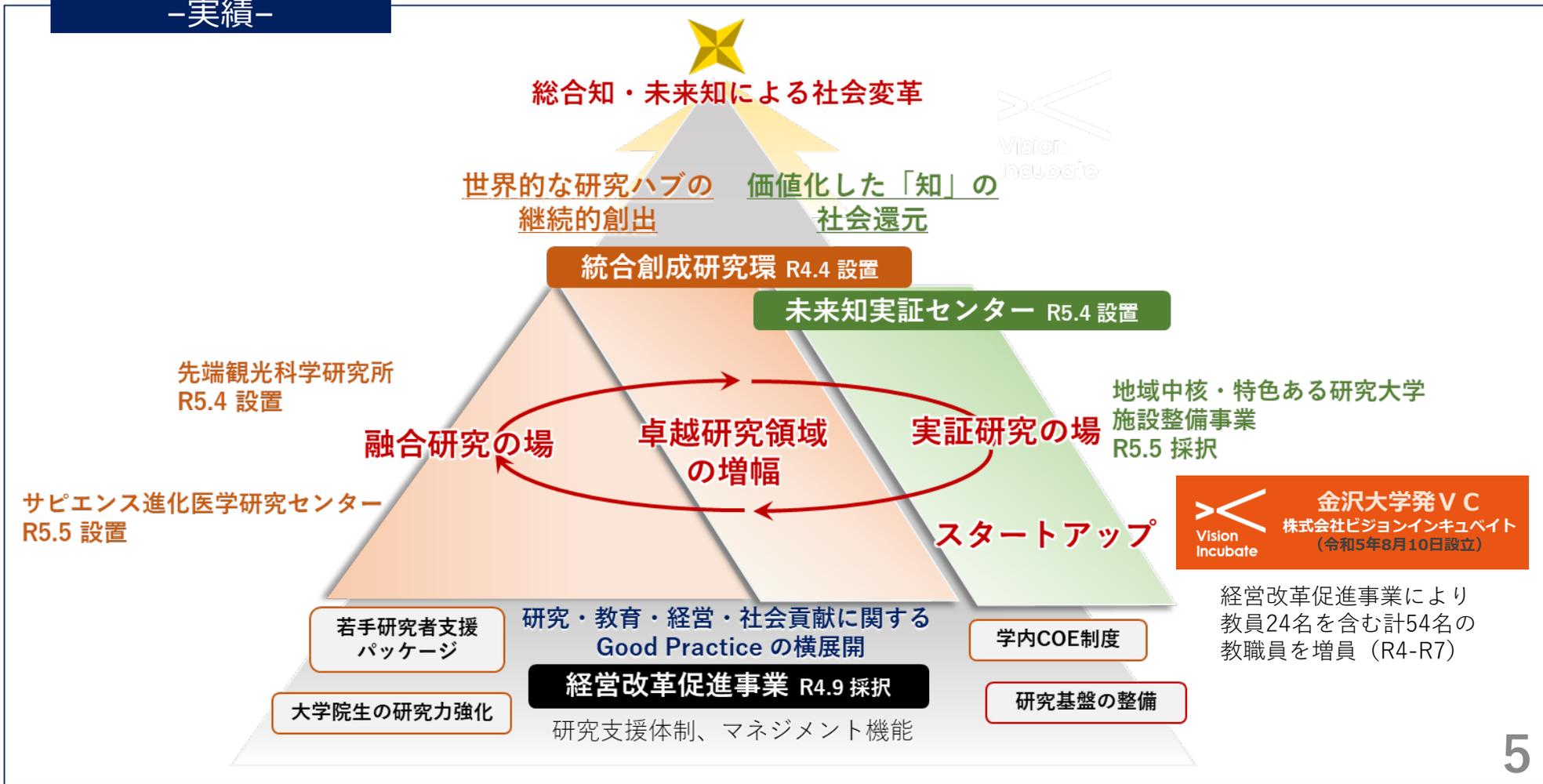
未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組の状況

- ① **研究**
独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成
- ② **教育**
社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ③ **経営**
人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

総合知・未来知による社会変革を目指し、
オール金沢大学で融合研究と実証研究を進めています

-実績-



独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

世界から注目されている研究成果

総合科学雑誌の最高峰である「Nature」が
特集企画「Nature Index Japan」で金沢大学を紹介しています

2023年3月 金沢大学新学術創成研究機構の**児玉昭雄教授**による研究
“How industrial exhaust heat could be used to extract carbon dioxide”
産業用排熱を二酸化炭素の抽出に利用する方法

カーボンニュートラルの実現と
グリーン成長への貢献



Springer Natureが“Research Highlight”として金沢大学を紹介しています

・2022年11月 金沢大学ナノ生命科学研究所の**新井敏准教授**らの研究グループによる研究
“Heating subcellular spots in cells”
細胞の機能を熱で制御する新しい技術の開発

より安全で安心なバイオテクノロジーの創出への貢献

・2023年1月 医薬保健研究域医学系の**三枝理博教授**らの研究グループによる研究
“Neurons that make mice feel awake”
マウスに覚醒感を与える神経細胞の発見

睡眠障害の治療法の開発への貢献



熱による細胞の機能を制御するイメージ図

世界的な研究を社会へ還元していきます

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

優位性・独自性のある研究分野の融合により、
文理医融合の新たな研究分野の創出に取り組んでいます

-実績-

R5.5.1
新設

サピエンス進化医学研究センター

古代人ゲノム・データサイエンス・
医学生命科学の統合による新分野の確立

人類はいかにして古代人から現代人にたどりついたのか？



R5.4.1
新設

先端観光科学研究所

文理医融合による
“観光科学”の確立



全ての人々が安心して観光を楽しむ
共存社会の実現

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

金沢大学キャンパスに、 多様な研究シーズの実証研究の場を創出しています

—実績—

R5.4.1 新設 未来知実証センター

幅広いステークホルダーとの連携
による「未来知」の実証研究

- ライフサイエンス実証部門
遠隔診療・介護 等
- コミュニティ実証部門
実験販売・人流・VR 等
- グリーンイノベーション実証部門
発電・バイオマス燃料 等



R5.5 地域中核・特色ある研究大学施設整備事業 採択

未来知実証センター棟（仮称）建設予定

小さな街のように社会活動が行われるキャンパスで、
本学の研究者と共に実証研究を行うことができます

R5.4月 本格稼働 バイオマス・グリーンイノベーションセンター（BGIC）

産学官金連携により研究を加速しています

- ・ オープンイノベーション
- ・ 世界最先端の研究開発環境
- ・ 出会いの場の提供
- ・ PHR、ウェアラブルデバイス etc.



持続可能な循環型社会を実現するために設置した、
共創型の研究開発拠点です

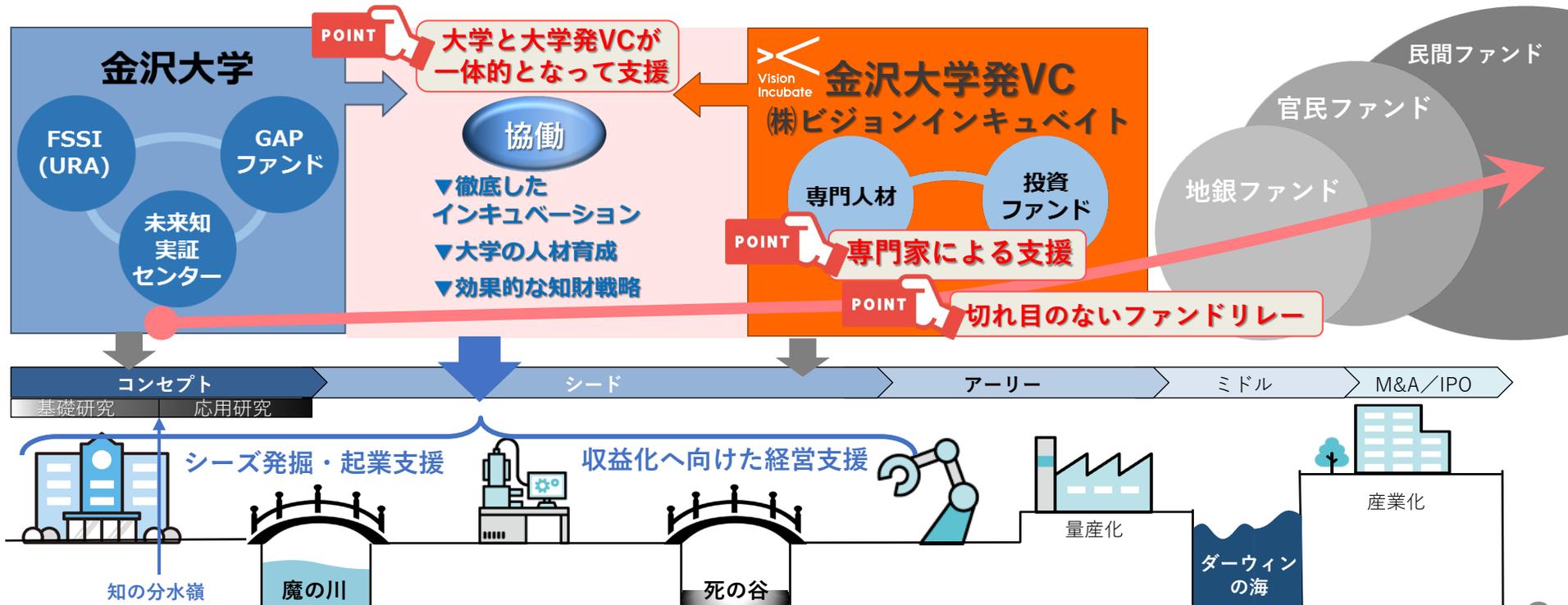
独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

スタートアップエコシステムの構築を進めています

-実績-

R5.5 金沢大学発VC 研究成果型活用支援事業計画の認定取得  経済産業省  文部科学省

R5.8 (株)ビジョンインキュベイト 設立



未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組の状況

- ① 研究
独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成
- ② **教育**
社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出
- ③ 経営
人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

世界のイノベーション創出の芽となる
博士研究人材を育成していきます

博士は 未来を 切り拓く。

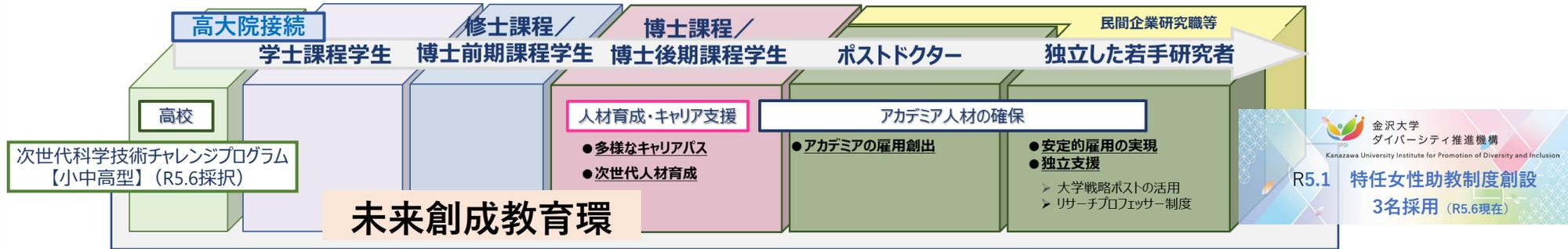
HaKaSe⁺

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト
(ハカセプラス)



-実績-

- ・ R4.4 「大学院GS 基盤科目・発展科目」新設（専門職大学院を除く）
- ・ R4.5 「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト HaKaSe⁺」運用開始 ※R4年度実績
高大院連携による大学院機能強化（給付型奨励金を含む7事業の一体化、本学独自奨励金支援状況：207件、約3.2億円）
- ・ R4.12 「Promising Researcher 制度」の創設（R5.10現在 6名採用（すべて女性研究者））



-Next Stage-

- ・ R6年度以降も教育組織改革として、大学院の改組を予定しています
- ・ 更なる支援制度の検討を進め、優秀な若手研究者の定着を進めます

R6年度
自然科学研究科D (17名増)
新学術創成研究科ナノ生命科学専攻M (6名増)
新学術創成研究科ナノ生命科学専攻D (4名増)
R7年度以降
融合学域に接続する大学院 (設置構想中) など

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

JST 令和5年度「次世代科学技術チャレンジプログラム」(小中高型)に採択

金沢大学STELLAプログラム

特徴

- ・小中高を通じた継続的研究
- ・児童・生徒の主体的探求
- ・科学の面白さの理解

大学院進学
→ 研究者

未来の科学技術
イノベーター育成

Integration & Upward spiral

本学の強み

- ・文理融合人材の育成
- ・高大院接続教育の取組



ジュニアドクター 育成塾

(H29-R3, R4)

実績

- ・参加者の希望研究分野が叶う総合大学
- ・多くの両事業継続修了生を輩出
- ・文科大臣賞等の各種受賞、国際会議等での発表、英語論文投稿



人類の未来をつくる
独創的研究者の育成

GLOBAL SCIENCE CAMPUS

(H28-R1, R2-5)

各々が自分のあるべき姿を目指す大学

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

附属学校園では、学校と地域の架け橋となって探求学習を実行し、新たな価値の創造に取り組んでいます。

KU5 PROJECT HES

金沢大学附属学校園将来構想〈金沢モデル〉

5校園の連続性を生かした未来教育を実施しています



地域人材、行政機関、企業等の協力を得て、子どもたちが主体的に考えて動く「考動体験」を促すプログラムを実施しています。



子どもたちの社会との接点を限りなく多くする

PROJECT HESO Webサイト

社会の変化に対応した教育組織改革を進めています

-実績-

- ・ R4.4 融合学域観光デザイン学類 新設
- ・ R5.2 教学マネジメントの強化 - 全学域・研究科を対象に「3つのポリシーの再整備」
- ・ R5.4 融合学域スマート創成科学類 新設



-Next Stage-

- ・ R6年度 融合学域観光デザイン学類
入学定員20名 → **55名 (35名増予定)**
- ・ R6年度 融合学域スマート創成科学類
入学定員20名 → **55名 (35名増予定)**
理工学域電子情報通信学類
入学定員70名 → **116名 (40名増予定)**
- ・ R6年度入学者選抜試験 (理工学域)
女子枠特別入試 導入
(R9年度の女子比率目標値：約20%)

デジタル人材選抜 及び 女子枠特別入試 を導入
令和6年度入学者選抜 (特別選抜) (令和5年度実施) から



9月23日(土) キャンパスツアーを開催します
実施内容：学生との懇談会、研究紹介、研究室見学

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

新しいイノベーションを創出する人材を育成するため、さまざまな活動を行っています。

●ミライ・ソウゾウコンテスト

令和5年7月13日、第1回「ミライ・ソウゾウコンテスト@金沢大学」を開催。学生自身で考えた社会課題の解決アイデアやビジネスプラン、現在取り組んでいるプロジェクトなどを語るプレゼンテーションを行いました。



●交流事業プロジェクト 雑談のチカラ

「未来への架け橋～元金沢市長と語るまちづくり～」

職種・業種や立場などにとらわれず、国内外で活躍するプロフェッショナル&リーダーをお招きし、“気軽に楽しく”雑談するスペシャルコンテンツを提供しています。令和5年7月19日、元金沢市長の山出保氏にお越しいただき、「金沢の魅力を考える」と題して金沢の魅力の背景等についてお話がありました。



●未来デザインプラクティス

「自分と未来は変えられる！」をテーマに、学生自身が“未来をデザイン”してさまざまな背景・専門性を持つ仲間とコミュニケーションを取りながら、その実現に向けて進んでいく、その“プラクティス（練習・実践）”として、学生が参加できるプロジェクトやイベントを実施しています。



社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

社会人等の多様な背景を持つ者が学びやすい教育環境をつくると共に卒業・修了後も含めたリスキリング教育を充実させていきます



社会人学生向け支援制度

大学院

設置基準14条特例制度：大学が夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行うことができる制度

長期履修制度：授業料を長期履修期間として認められた期間に応じて按分が可能

早期修了制度：社会人としてのこれまでの業績を活かし博士の学位を取得する場合、あるいは、入学後に優れた成績を収めた場合、博士前期課程、博士後期課程ともそれぞれ最短1年で修了することが可能

融合学域

：入試成績優秀者修学支援制度（社会人修学支援）（3年次編入学者を含む）
 優秀な成績で合格した社会人には、入学料の全額及び授業料の全額を免除します

能登里山里海SDGsマイスタープログラム

能登の地域課題解決に取り組む人材、持続可能な地域社会モデルを発信する人材を育成します

H18～R4年度 修了生(マイスター) 232名
 受講を機に移住した者の奥能登定着率 約86%



共創型企业・人材展開プログラム

首都圏の中核人材を地方企業に呼び込み、地方創生やイノベーションに資する **地域企業の活性化** を目指します

R1～R4年度
 プログラム修了者26名
 うち **地域企業定着20名**



リカレント教育推進事業

キャリアアップ

「大規模データ取得・管理・活用を進める技術人材」教育プログラム

「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に、本学から3件が採択されました (R5.6)

リテラシー・リスキル

地域企業変革リーダー人材DXリスキリングプログラム

エキスパート人材

北陸の中心で多職種から学ぶ～メディカルスタッフのための未来キャリア創造プログラム



外国人留学生の受入拡大と地域定着を推進しています

-実績-

留学生数は過去最大規模に拡大

- ・過去最大規模の**956名**の留学生が在籍しています（R4年度実績）
- ・SGU事業採択以降の10年間で、留学生数は**1.4倍**に増加しました

海外大学と連携した二重学位プログラムの展開

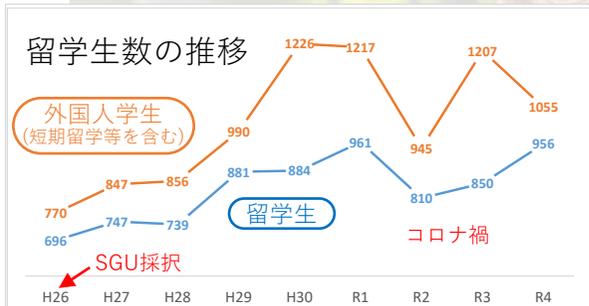
- ・R5.5現在で、22のダブルディグリープログラムと3つのコチュテルプログラムを設置し、大学院強化とグローバル人材の育成を推進しています

留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト

「Link KAGAYAKI」

- ・高度な専門知識と技術を持ち、地域に根づきイノベーションの発展に貢献する高度職業人材を育成します

就職先 (株)アイ・オー・データ機器、コマツ産機(株)、
(株)高井製作所、北陸電気工事(株) など



Link KAGAYAKI 留学生北陸3県合同企業説明会

-Next Stage-

- ・更なる国際化、外国人留学生の受入拡大を図り、**グローバルで活躍できる人材**を育成します
- ・企業の海外展開をはじめとした事業発展につなげ、**北陸地域の活性化と発展**を目指します
- ・**米国との戦略的国際交流強化**を目指します



未来ビジョン「志」に掲げるあるべき姿に向けた取組の状況

① 研究

独創的な世界トップレベルの研究展開による世界的研究拠点の形成

② 教育

社会の中核的リーダーたる“金沢大学ブランド人材”の輩出

③ 経営

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

“共創”

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

北陸全域に広がる産学官金プラットフォーム「北陸未来共創フォーラム」を北陸地区の国立大学4大学が共同して運営しています



新しい発見、新しい結合、新しい価値。

北陸未来共創フォーラム

産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

会長：北陸経済連合会会長、副会長：北陸地区国立4大学学長、幹事：分科会代表企業等

未来ビジョン一	経済・産業活性化	マテリアル分科会 先進のマテリアル、カーボンニュートラル技術開発に基づいた産業創出・育成	先端エレクトロニクス分科会 最新のエレクトロニクス技術に基づいた産業創出・育成
		ヘルスケア分科会 未病ケアや健康増進等を含む次世代ヘルスケア産業の創出・育成	次世代農林水産分科会 ICT・工学分野との融合による農林水産イノベーションに基づいた産業創出・育成
		観光分科会 先端技術を活用した新観光産業の創出・育成	グリーンイノベーション分科会 カーボンリサイクル分野の技術革新とビジネスモデルの創出・育成
未来ビジョン二	人材育成・地域定着	地元人材育成分科会 北陸地域の地元人材の能力開発や実践的な知見の獲得・醸成	人材流入・地域定着分科会 都市部や海外などの北陸以外からの人材の呼び込みと地域就業・定着

新規会員募集中 [北陸未来共創フォーラム](#) [検索](#)

業種や組織規模といったあらゆる壁を越えた出会い、交流の促進、事業・ビジネス創出等に寄与します

金沢大学附属病院「第2中央診療棟」整備事業



①高度先進医療の提供

手術件数 8,100件以上／年
(令和4年度：6,434件)

②がん医療提供体制の強化

外来化学療法患者数 12,400人以上／年
(令和4年度：9,071人)

③PFM (Patient Flow Management) 機能の強化

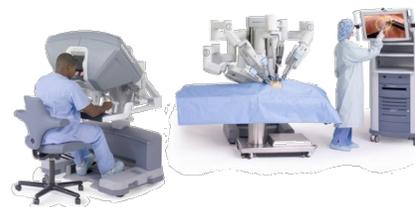
手術日程のスムーズな調整と身体への負担が少ない手術等を可能にします

手術室を15室から20室へ拡充

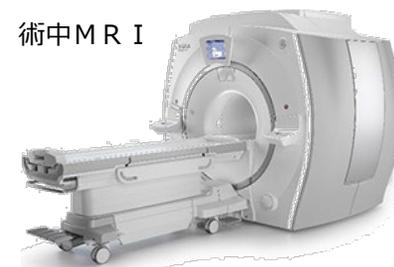
手術と血管造影が同時にできるハイブリッド手術室

術中MRIが可能な手術室

手術支援ロボット



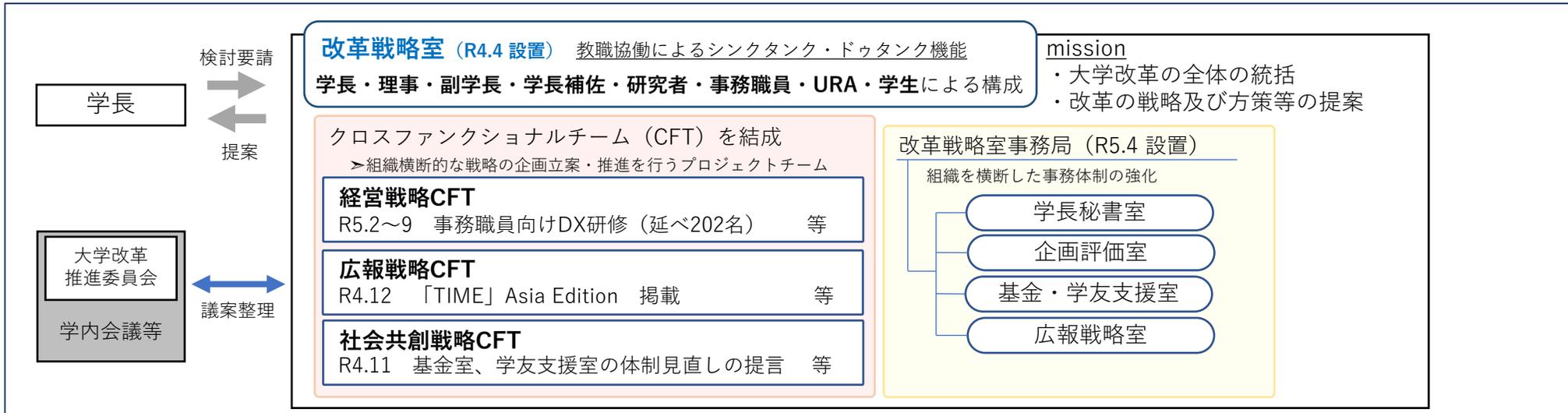
術中MRI



バイオバンク構築推進プロジェクト

R5.3にバイオバンクシステムを導入し、[医療版情報銀行に関する加賀市との共同研究を開始](#)しました。健康寿命延伸につながる次世代型医療システムの研究開発やイノベーション創出を目指します。

機能強化の方策等を一丸となって提案、実行しています



MOT Lovely Project
- オール事務部 for 学生ファースト -

学生・留学生の環境充実に向けて事務部等の枠を超えた取組の展開



プロジェクトメンバーへ表彰の様子

R5.3 学生の意見を取り入れた冷凍丼の自販機設置



R5.3 地元飲食店による弁当等の販売



R5.5 公共シェアサイクル角間エリア拡大実験を誘致



R5.10 地元飲食店、学生の起業コーナーを含む新食堂をOPEN



人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

情報メディアの変化に対応した広報戦略を実行しています

-実績-

R5.3 金沢大学の広報・ブランディング基本理念を制定しました
「明解な広報」と「多様なメディア展開」を重視しています

新たな広報（多様なメディア展開）

- Webサイト リニューアル R5.3
- オリジナルグッズ等の企画展開
- TIME、Natureの掲載 R4.12、R5.3
- 東京駅八重洲口デジタルサイネージ R4.12

研究や教育の活動成果を商品化しています
ステークホルダーへの認知向上を図っています



グアテマラ有機コーヒー
(研究フィールド、国際協力)



すずかけクッキー
(特別支援学校)



百草紅茶 (学生ベンチャー、(株)LFOR)

Y-SAPIX JOURNAL vol.66

大学歴訪録 #54

学長インタビュー、大学紹介が掲載されました。

日本経済新聞・日経HR

「人事が見る大学イメージランキング (R5.6)」
全国総合ランキング 12位 (昨年 38位)

「TIME」Asia Edition,

December 26/2022 & January 9/2023号, Online版12月26日掲載



STEAMing into the future with global learning

Kanazawa University is working to attract more international students by offering top class research, liberal arts, and science subjects as part of a plan to produce leaders of the future.



Faculty Wada,
President, Kanazawa University

A forward-thinking university is planning to revolutionize education for the next generation by bringing the world to Japan. The ground-breaking faculty of Kanazawa University is working to improve not just the life and performance of its students, but of the

wider society and economy. The institution not only works to attract international learners but has developed a specially designed social system to support their local integration and well-being. Now Kanazawa University President, Takashi Wada said they need to work harder to open to the wider world while strengthening ties with local society. "Being an island country is part of what makes Japan's culture so special and inviting more international students enhances that culture, nationally and at Kanazawa University. In terms of research, the educational atmosphere, and the local community," he said. Attracting and getting the best out of the next generation of students requires a multifaceted approach combining

welfare, academics, and creative thinking. As well as its strong commitment to life sciences research, and ICT systems that support remote learning and the web-enabled smart society of the future, the Kanazawa faculty are keen enthusiasts for STEAM



nature 英国科学誌「Nature」9 March 2023号の
特集「Nature Index Japan」

紹介大学：本学を含む9大学（東京大学、東北大学、早稲田大学等）



国内大学として総合13位にランクイン。

分野別では、**Health Sciences 8位**、**Earth and Environment Sciences 10位**と、
本学の研究は世界的に高い評価を得ています。

-Next Stage-

効果的、効率的な広報を実行し、本学の存在意義・価値・魅力を
ステークホルダーにお届けし、認知向上を目指します

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

160年を超える金沢大学と前身校の歴史について、在学生を含めたステークホルダーに広く伝え、後世に遺す取組を進めています

附属図書館

展示スペース「思考の森」

「金大史通観コーナー」で本学縁の貴重資料を展示



(左)
『西田氏實在論及倫理学』

(右)
『寺小屋（儀式風俗図絵から）』
石川女子師範学校から継承

資料館

金沢大学と前身校に由来する様々な資料を収集・展示しています。



金大コレクション展 開催中
(入館無料:10月13日まで)

文化庁文化芸術振興費補助金

「Innovate MUSEUM事業」採択 (R4、R5年度)



地域の博物館とのデジタル・ネットワークによる資料情報（日・英・中国語）の共有と連携の構築を目指しています

-Next Stage-

宝町地区の4つの歴史的建造物を、登録文化財として申請中です。それらの利活用について、学内にプロジェクトチームを設置し検討を進めています。

金沢大学医学類旧書庫
(旧制金沢医科大学書庫)



人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

金沢大学基金を活用し、学生と社会の未来へ貢献する活動を行っています



大学基金
大学全体を
応援する基金



修学支援基金
経済的な理由で修学が
困難な学生を応援する基金



研究等支援基金
優れた若手研究者を
応援する基金



課外活動振興基金
サークル活動を
応援する基金

R4.4 「ウクライナ等海外緊急支援基金」創設

- ・ウクライナから研究者の招へい
- ・渡航費用や生活基盤形成の支援
- ・ウクライナからの留学生の滞在費



R5.4 「金沢大学附属病院第2中央診療棟・新医療体制支援基金」創設

- ・第2中央診療棟の整備による診療機能の強化
- ・手術室の増設による手術日程のスムーズな調整
- ・地域医療への貢献



R5.4 「基金・学友支援室」設置

- ・基金と同窓会窓口の統合
- ・ファンドレイジングに関する有資格者（金沢大学卒業者）の配置



R5.5 「未来のがん研究者を育てる基金」創設

- ・日本・世界から高校生が集う研究体験プログラムの実施
- ・将来のがん研究者の「卵」の育成



本基金は大学の経営基盤を支える大きな柱となっています

人・知・社会の好循環を作り出す持続可能で自律的な運営・経営の実現

金沢大学・研究等支援基金に、「博士人材」としての未来を描く
学生を後押しするキャンペーンを開始しました

日本を救う 価値を創る 未来を拓く

エール

博士にYELLキャンペーン

HaKaSe⁺

博士は 未来を 切り拓く。



現在の国による博士学生支援事業の支援を受ける
HaKaSe⁺選抜学生ら



地域・社会の皆様からのご支援を賜りながら、
社会発展の駆動力となる博士人材の育成に努めます

基本理念「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」



角間キャンパス



宝町・鶴間キャンパス

「未来知による社会貢献の実現」に向けて

「オール金沢大学」で取り組んでいきます

人が輝く金沢大学